

お遊び気分クリエイターになるためのパソコン活用マガジン

お気楽

パソコンで映像作家になれる



1280yen

静止画だけで
すぐ映像作品

画像の合成も
マウスで一発

粘土アニメも
一人で作れる

体験版

CD-ROM付き
for Windows

パズル感覚で楽しむビデオ編集!!

© FOSHIMI UENO 1998

SOFTBANK MOOK

SOFTBANK

ビデオ編集ソフトがあれば クレイメーションも作れる



普通の映像作品は、最低でもカメラマンと出演者の2人を用意しなければなりません。しかし「クレイメーション」であれば、自分1人だけでも映像作品作りに燃えることができます。「1フレームずつの撮影で面倒では？」と思う人もいるでしょうが、じつはそんなことはありません。ここ最近ではクレイメーションをはじめとする人形アニメの人气が再来。せっかくのブームなので、チャレンジしない手はありません。

「クレイメーション」とは、「クレイ(粘土)」と「アニメーション」を合わせた造語。粘土で作った人形を少しずつ動かしながらコマ撮りで撮影して、最終的にすべてのフレームをつなげて映像とする手法のことです。

楽しみながら 作ることが大事

普通に人形を作るとなると、「骨組みはどうしたらよいか」とか「服のことも考えなくて」と、何かと面倒なことはいっぱい!? しかし、相手が粘土であれば適当にコネて指先で形を整えれば、

誰でも何となくではあっても人形らしき物体を作ることができます。少くらいバランスが悪くても、粘土の人形ゆえの愛敬あるイメージには、逆に効果的だったりするのですから?

クレイメーションのための人形は、自分が楽しいように作るのが一番。そんな人形であればこそ、撮影時にチョコチョコと動かしてアニメーションを作れば、感動もひとしお…となるわけです。

粘土のなかには、乾燥してもボロボロと崩れ落ちないものがあります。さほど手を汚さない

製品もあるので、手軽に人形作りから楽しむことができます。

粘土じゃなくても 動かせるならOK

作品作りのことを考えるならば、別に粘土の人形に限る必要もありません。ゲームセンターでできる人形でも構いません。空き缶に瞬間接着剤でいろんな廃材をくっつけたものを何体か用意して、撮影に挑むことができます。

たとえば、コンパスが足を開いたり閉じたりして歩いているような映像だって、立派な作品

なのです。つまり、あなたのアイデア次第で、主人公のモノは何でもよいわけです。

さて動かすのが決まったら、次はどんな場所で演技させるかを考えましょう。

クレイメーションなどの撮影の場合、ビデオカメラは手持ちではなく三脚に取り付けて作業することが大前提。三脚が置けない位置は、基本的にダメだと思ってください。

1フレームごとに人形を動かして撮影するわけですから、周囲が広い場所を選びます。少しだけ動かそうとして、ビデオカメラの位置をずらしてしまったり、また一からやり直します。

また、部屋の電灯にも注意しましょう。蛍光灯は設計上、常にチラツキながら点灯しているので、ビデオカメラの静止画モード(フォトモード)やデジカメで撮影すると、タイミングによってまったく違った色合いになることがあるのです。

クレイメーションの場合は、白熱灯などチラツキのないライトで撮影場所を照らすようにしてください。

なお、本格的な映像作品ではないので、背景は自分の机の上のパソコンなど、身近なものをそのまま使えばOK。まずは撮影

買ってない人はいますぐ書店へGo!!
好評発売中 お気楽パソコンシリーズ

とにかく、いまの家庭用パソコンは何でもできるすごいスペックを持っています。そして、目的に合わせたソフトを選べば、あなたの隠れた才能を引き出す力があるのです。

そこで「お気楽パソコンシリーズ」では、本書「お気楽パソコンで映像作家になれる」のほかにも、「パソコンで作曲家になれる」「パソコンでGデザイナーになれる」の2冊を発売中。体験版CD-ROM

付きのこれらの本とパソコンが1台あれば、誰でもお気楽に話題のデジタルクリエイターになれてしまうのです! これを読んで、作曲家やデザイナーになって一儲けしましょう!

●注文の宛て先
ソフトバンク株式会社 出版事業部
販売局「お気楽パソコン」係
〒103-8501 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
☎03-5642-8100

文字デザインや画像加工がマウスの簡単に行える「お気楽パソコンでGデザイナーになれる」

鼻歌をメロディに!? お手軽パソコンで作曲家になれる「お気楽パソコンで作曲家になれる」

することが肝心です。

画像を取り込み 編集すれば完成だ

粘土の人形を動かすときは、ピンセットなどを使って少しずつ変化させます。この微妙な変化の具合にこそ、そのクレイメーションの特徴があるのです。わざとマンガ風にしたたり、ど

こまでも人間っぽい動きにしたりと、好みに合わせてチャレンジしてみましょう。とにかく、撮影したら再生しておかしいところを直す…という作業を繰り返すことで、納得いくまで動かし方を考えてみましょう。

撮影が終了したら、ビデオデッキとビデオキャプチャボードを接続して、キャプチャ作業を

1人でも撮影ができる クレイメーションに挑戦

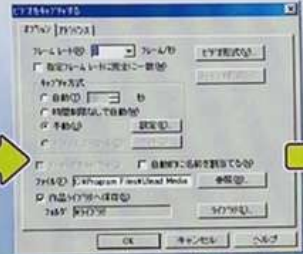


関節部分に針金を刺して、クレイメーション用に可動させるようにする。

手足に頭部、尻尾をつなげてできたら、作ってみると意外と簡単!



粘土の人形を撮影する場所に置いたら、ビデオカメラを設置しよう。



ビデオ編集ソフトで、撮影した画像をパソコンへ取り込む。



取り込んだら画像を並べるだけで映像作品ができてしまう!



行いましょう。

このときに「Video Capture」を使うと、1フレームずつのキャプチャが可能になります。あとあとの編集がとても楽になるので、活用しましょう。

どれくらいのスピードでフレームが切り替わるかの指定は、キャプチャ前に、1秒間につき何フレームの映像ファイルにするのか…といった部分の指定で決定します。といっても「Video

Editor」上で再生速度をコントロールできるので、一応、1秒間につき3~5フレームぐらいにしておくとういでしょう。

あとはそれらのファイルを順番に並べるだけで、作品はほとんどでき上がったようなもの。最後に、タイトルとエンド部分をタイトルクリップなどで作成&編集すれば完成です。

ストーリー設定があるならば、ビデオフィルタやトランジシ

ョンを駆使して、本来のクリエイション以外の動きを付加してもよいでしょう。ビデオ編集ソフトを使えば、そんな効果も簡単に設定できます。

まずは、鉛筆でも消しゴムでも何でもよいので、少しずつ移動させながら1フレームずつ撮影してみることに。その楽しさに実際に触れてみるのが大切です。プロ並みとまではいきませんが、本当に簡単にできます。

クリエイターティスト

こねこねランド 金田みちよさん

最近、テレビ番組のオープニングやコマーシャルなど、クリエイションは大人気。じつはこのクリエイション、その多くは人形を作る「クリエイターティスト」と、それを動かして撮影する「アニメーター」に分業されているのが基本です。

そのクリエイターティストとして活躍中なのが、「こねこねランド」の金田みちよさんです。

もともとアメリカでテレビ番組制作に携わったり情報誌をプロデュースするなど、多方面で活動し

ていた金田さん。シリコンでできた安全無害な素材「マシュマロねんど」に出会い、クリエイターティストとしての第一歩を踏み出しました。

その後、ニューヨーク・ソーホーのギャラリーショップで作品展示会を開催したのを皮切りに、アメリカ、日本で大活躍。フジテレビの「あったか愛ランド春のフジテレビ」キャンペーンでは、テーマをイメージしたジオラマを制作。精力的に活動する毎日を送っています。



「こねこねランド」のクリエイターティストの金田みちよさん

金田さんは「粘土細工というところの子供の遊びと思うかもしれないけど、じつはストレスを解消するリラクゼーション効果があるんですよ。だから、ふだん疲れ気味の大人にも、どんどんやってほしい。また、どんな形にするかを考えながら両手を動かして右脳と左脳を同時に活性化させるから、若返り効果もあります。だからこそ、老若男女すべての人にオススメします」とのこと。

クリエイターティストはまだまだ新しいジャンルなので、業界的に人材不足だとか。人形の出来がよかったら、クリエイターティストを目指してみたい?



フジテレビのキャンペーンテーマをクリエイターで制作したジオラマがこれ。



「マシュマロねんど」で作った人形は、細部まで非常に凝った作りだ。

パソコンで映像作家になれる

Step 2

プロから学ぶビデオ編集ノウハウ



パソコンを使った映像編集はプロのあいだでも大人気。いままで数千万円から数億円といった投資が必要だったのが、パソコンを導入することで1/10以下の費用で同じ画質の作品が作れるのですから…。そこで早くからパソコンでのビデオ編集作業に取り組んできた映像作家の制作現場に密着。使用している機材から編集に関しての裏ワザまでを大公開します。プロの映像作家も夢ではありません。